



外国出張報告書 556

平成 26 年 4 月 4 日

1. 出張国名 コロンビア、メキシコ
2. 出張月 平成 26 年 2 月～3 月
3. 出張目的 生物的硝化抑制 (BNI) に関する CIAT との共同研究推進及び BNI-コムギに関する CIMMYT との共同研究に向けての意見交換 : A
4. 成果の概要

最初に、CIATへの委託研究“Quantifying the BNI-residual effect from *Bracharia humidicola* on subsequent maize production”で試験を実施している現地圃場のある CORPOICA Taluma 試験地を訪れた。すでに栽培植物は収穫済であったが、2013年度の研究の実施状況を確認するとともに、2014年度の委託研究の試験内容を検討した。また、CIAT が近くで実施中の試験圃場も視察した。CIAT本部に戻り、2013年度の委託研究の結果の詳細をCIATのスタッフと解析するとともに、試験により採集した重窒素分析用のトウモロコシの根圏土壌と乾燥植物体をJIRCASへと発送した。また、ブラキアリア牧草のBNIの今後の研究戦略についてCIATの研究者と討議した。

出張の後半には、CIMMYTを訪問した。CIMMYT本部でコムギ研究者らとコムギ遠縁野生種からのBNI遺伝子の栽培コムギへの導入に向けた共同研究の内容や予算獲得の戦略等を向けた協議を行った。続いてCIMMYTオブレゴン試験地で開催された”2014 BGRI Workshop and Borlaug Summit on Wheat for Food Security”に参加し、世界のコムギ研究に関する情報を収集するとともに、多くの研究者と意見を交換した。